

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業	担当課	経済課
総合計画	政策	くらしの基盤	計画期間	平成17年度～
	施策	地場産業の活性化	種別	任意の事務
	基本事業（取組）	地域資源の有効的な活用	市民協働	実行委員会
予算科目コード		01-070102-09 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
つくばエクスプレスの開業を機に、市民の方々の交流促進による地域振興や、守谷市を広くアピールするために開始した駅前イベントで、平成22年度から守谷市商工まつりと統合して実施しているもので、商工会を主体とした実行委員会への支援を行っている。	毎年9月下旬の2日間、守谷駅西口駅前広場を会場として実行委員会により開催するイベントを負担金により支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域産業を支える商工業者や市民活動のPRの場として、実行委員会が開催する守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～を支援することにより、地域の活性化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいを創出する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、開催できるよう実施方法や実施内容などを検討する必要がある。	
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
実行委員会において、課題を整理し、実施方法や実施内容について協議を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止とした。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止とした。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
来場者数（人）	0.00	28,700.00	48,600.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止したため。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	地域産業を支える商工業者や市民活動の発表PRの場として開催しているイベントであるため、新型コロナウイルス感染防止に務めながら継続して支援する。						

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	0	0	0	3,200	3,200
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	3,200	3,200
正職員人工数（時間数）		0.00	8.00	29.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	31	112	0	0
トータルコスト		0	31	112	3,200	3,200

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		守谷生まれの食品推進事業		担当課	経済課
総合計画	政策	くらしの基盤		計画期間	平成27年度～
	施策	地場産業の活性化		種別	任意の事務
	基本事業（取組）	地域資源の有効的な活用		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-070102-12 単独	根拠法令・条例等	・守谷市いただきます条例 ・守谷生まれの食品推進協議会設置要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 食のまちづくり施策として、安全で安心な食品の生産や供給，地産地消と食育を推進するため，市民，生産者，事業者等の委員で構成された守谷生まれの食品推進協議会で，食に関する施策や推進を行う方法等について検討を行う。令和3年度から4年度まで秘書課が中心となり経済課と共同で「守谷生まれの食品」登録事業者を広報とSNSで毎月紹介記事や動画を発信した。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
食をとおして家庭や地域の絆を築き，守谷の新たな魅力を発信，地産地消を推進し，食に関する産業の発展と健康で豊かな市民生活の実現を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の見所等、守谷の魅力をより多くの人に知ってもらおう。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷生まれの登録事業者数が少ないため、更なるPRが必要である。 また、登録事業者の周知や守谷生まれの食品についてPRが十分ではないため、検討が必要である。	令和元年8月 PR用品の作成について協議会で検討 令和2年 2月 来年度のPR方法について協議会で検討
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
今後のPR方法について、協議会で検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
令和3年4月から、広報もりや毎月10月号において守谷生まれの食品登録事業者の紹介記事を連載するとともに、市ホームページでは取材時のインタビュー動画も公開した。また、11月に開催した第12回守谷生まれの食品推進協議会で、守谷駅西口駅前広場で開催している「ふるさ都市もりや朝市」に登録事業者が出展しPRできないか検討し、実施に向けた準備を進めた。	令和4年度も引き続き、広報もりや毎月10月号において守谷生まれの食品登録事業者の紹介記事を連載するとともに、市ホームページでは取材時のインタビュー動画も公開した。また、令和3年度に準備を進めた守谷駅西口駅前広場で開催している「ふるさ都市もりや朝市」に登録事業者の出店の支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
食のまちづくりの推進に関する施策数（施策）	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	登録事業者数を維持するため、引き続き支援を行う。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き小学生向けの啓発用品の配布とともに、広報もりやへの掲載や「ふるさ都市もりや朝市」への登録事業者出店を進めるために、事業PRに務める。						

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	261	160	132	230	230
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	261	160	132	230	230
正職員人工数（時間数）		27.00	148.00	176.00	0.00	0.00
正職員人件費		109	573	679	0	0
トータルコスト		370	733	811	230	230